

# 5年(70時間)

		単元「災害に強いまち作り」パート1 (20時間)	
一 学 期 20	ねらい 防災	◎自然災害の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、自らの安全を確保するための的確な思考・判断に基づく適正な意思決定や行動ができるようにする。	
	つかむ	1 自然災害である地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要を知る。 ①最近起こっている自然災害を思い起こし、なぜ自然災害が起こるのかについて考える。 ②自然災害の現状、原因、及び減災について調べ、課題を見つける。	1 3
	追求する	2 日本で起こっている自然災害や倉永校区での自然災害について調べる。 ①市防災対策室の方に来ていただき、現在の自然災害の状況や倉永校区で起こりえる災害や防災について教えてもらう。 ②福岡市防災センターへ行き、地震等の体験をする。 (社会科見学：総合3時間、社会3時間)	6 3
	いかす	3 防災安全マップをつくる。 ①学習したことを生かして、校区の安全マップをつくる。 ②地域や全校の発表する。	7 1
		単元「倉永ふるさと再発見」(35時間)	
二 学 期 35	ねらい 環境 福祉	◎校区の史跡や歴史について調べ、地域の方の話を聞くを通して、自分たちの校区を住みやすい活動を考え、取り組むことができる。	
	つかむ	1 課題をつかみ、計画を立てる。 ①倉永校区にある史跡には、どんなものがあるか、どこにあるか思い起こす。 ②倉永校区の史跡や歴史について調べることを知る。	1 1
	追求する	2 課題に取り組む。 ③倉永校区にある史跡を見学する1(地域の方々) ④見学したことを地図に起こし、まとめる。 ⑤倉永校区にある史跡を見学する2(地域の方々) ⑥見学したことを地図に起こし、まとめる。2	4 5 4 5
	いかす	3 学んだことをまとめ、交流する。 ⑦倉永校区史跡マップを作成する。 ⑧史跡を大切にしたいまちづくりをするためには、どうしていけばよいか考えをまとめ、交流する。 ⑨倉永ウォークラリーで全校児童に史跡を説明するために練習する。	5 5 5
		単元「災害に強いまち作り」パート2 (15時間)	
三 学 期 15	ねらい 防災	◎自然災害について理解するとともに、日常的な備えをし、安全活動に進んで参加・協力し貢献できるようにする。	
	つかむ	1 課題をつかみ計画を立てる。 ①日常的な備えをするのは、どんなことをしたらよいか考える。 (避難場所や家の中、非常持ち出し袋など)	2
	追求する	2 課題に取り組む。 ①非常用持ち出し袋の中身について考え、本物の非常用持ち出し袋の中身を確認する。その後、なぜそのような道具が必要なのか考える。 ②福岡県防災出前授業(県HP申込)に来ていただき、防災について学ぶ。 ③市防災対策室の方に来ていただき、全校児童で避難所設営を行う。	2 3 4
	いかす	3 現在及び将来に直面する災害に対して、自らの安全を確保するために的確な行動の重要性や日常的な備えについてまとめる。 ①これまで学習したことをまとめる。	4